

令和7年度第2回手上げ型交付金 採択事業一覧

| 地区   | 組織名                                   | 事業概要                                                                                                                                      | 採択額     |
|------|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
|      | 事業名                                   |                                                                                                                                           |         |
| 野村ほか | 野村地域自治振興協議会ほか6組織                      | 校歌にスポットを当て、各地域の住民と共にそれぞれの校歌を歌い音源化し、地域の魅力が詰まった校歌を歌い繋いでいくことで、学校廃校や人口減少等により繋がりが希薄となりつつある地域住民の「地域力」を高め、校歌の意味を考え歌うことで地域の魅力を再認識し「地域愛」を育むことを目指す。 | 2,000千円 |
|      | 校歌の効果で♪愛する地域を♪残してこうか♪(3年目)            |                                                                                                                                           |         |
| 石城   | 石城ロマンの里応援隊                            | これまで石城で営まれてきた生活・生業・行事・祭り・住民の想いや記憶を記録した「いわきマップ」を作成し、積極的に情報発信していく過程のなかで、人の繋がりの構築や世代間の交流を目指す。                                                | 1,898千円 |
|      | いわきものがたり 第2章                          |                                                                                                                                           |         |
| 中筋   | 中筋地区自治振興会                             | 令和5年度に中断した「達`間館」（ツリーハウス）を移設し完成させていく、また「達`間館」の活用について検討していく過程のなかで、地域内外ともに事業へ関わってくれる人材を積極的に募り“共につくる”をキーワードとして関係人口を創出していく。                    | 720千円   |
|      | 達`間 館プロジェクト「続」                        |                                                                                                                                           |         |
| 横林   | 横林自治振興協議会                             | 現代人が失いつつあるモノ・コトに気づき、横林の暮らしの中にある「生きる力」を見つめ、「生きる力」を習得できる「場」を整備、水と食べ物を確保し必要な物を「つくる力」を習得し、地域の持っている力、人の持っている力を引き出すことで、地域がウェルビーイングな状態になることを目指す。 | 1,764千円 |
|      | 『よこばやしの暮らし』<br>～「生きる力」を繋ぐ、つくる暮らしへの回帰～ |                                                                                                                                           |         |
| 石城   | 石城ロマンの里応援隊                            | マンモスクッキーの本格的な商品化、IWAKI市場の開催、ワークショップの開催を通して、事業の自立に向けてさらに力をつけていくほか、地域内および地域外の交流機会も積極的に獲得し、石城地区のシンボルとして愛されるマンモスを中心に人を繋ぐ場所づくりを実行していく。         | 1,786千円 |
|      | IWAKI マンモスプロジェクト 2025                 |                                                                                                                                           |         |
| 魚成   | 魚成地域振興会                               | 地域内には龍澤寺を始めとした神社寺院などの文化財が存在するが、地域住民がその価値を深く見つめなおす機会はなかった。今回、愛媛大学と連携しながら地域の神社寺院をはじめとした地域の建築物について、学びを深め、地域資源の価値を再認識することで、地域への愛着や誇りを形成していく。  | 1,346千円 |
|      | 魚成文化資源みどころ再発見！交流学び舎事業                 |                                                                                                                                           |         |
| 遊子川  | 遊子川地域活性化プロジェクトチーム                     | 遊子川地域では令和6年4月にオープンしたゲストハウスを拠点とする『遊子川暮らし』体験メニューを構築している。今回、若者のアイデアを取り入れメニューのブラッシュアップをつなげていくことで、関係人口の拡大による持続可能な地域づくりにつなげていく。                 | 1,229千円 |
|      | 関係人口拡大ラボ ～地域と若者の共創実験～                 |                                                                                                                                           |         |

10,743千円